

南あわじ地域における就農・定着応援プラン

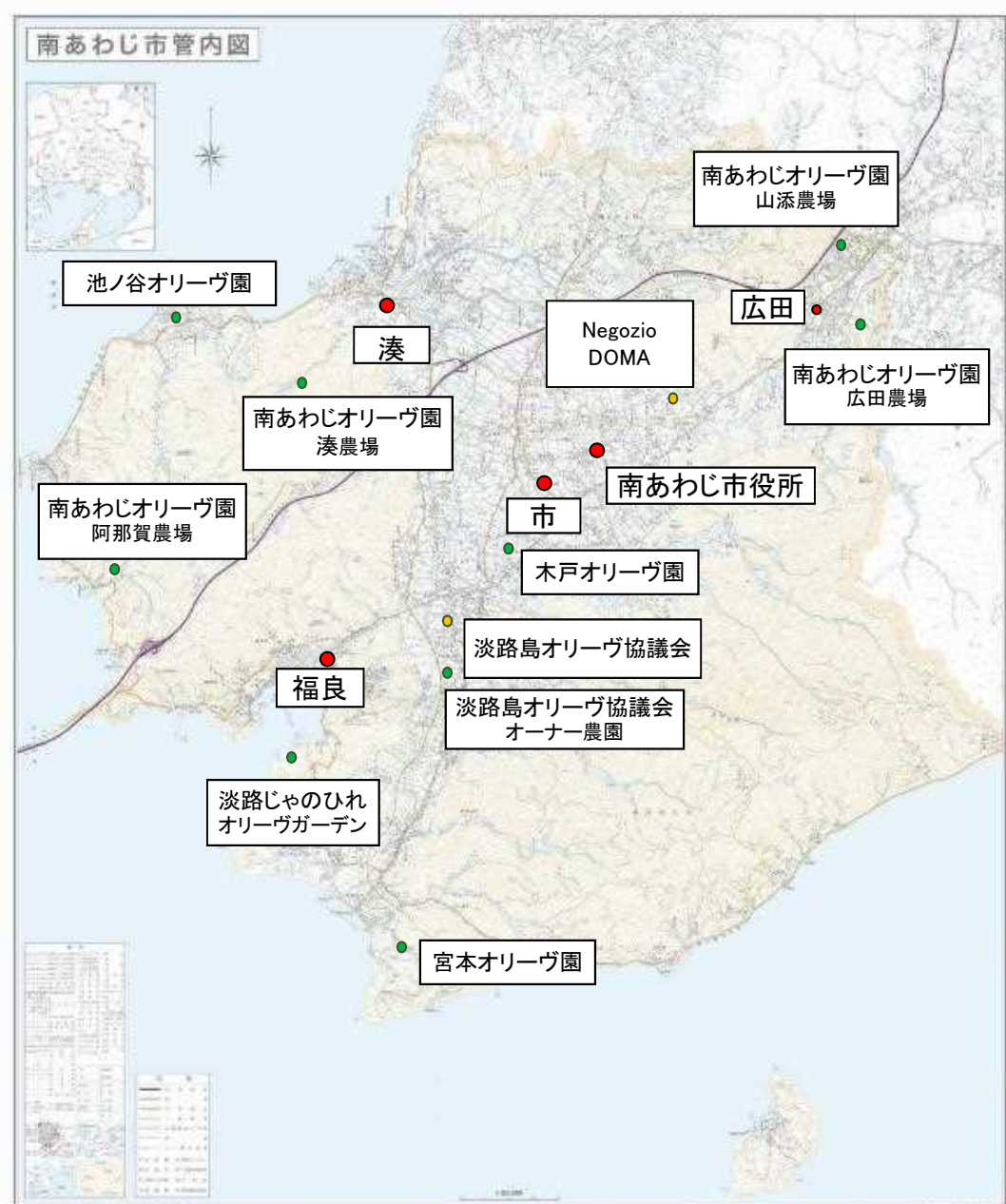
令和 5 年 6 月 19 日策定

淡路島にオリーブ産業を！



南あわじ地域オリーブの会

南あわじオリーブ生産地MAP



淡路島にオリーブ産業を！



1. 南あわじ地域におけるオリーブ栽培の現状

淡路島のオリーブ栽培は農業生産法人南あわじオリーブ園により南あわじ市賀集において2009年からスタートしています。

オリーブ栽培農家も年々増加しており、2023年6月現在では12軒、栽培企業が8社により栽培本数は約7,800本となっており、年間で約10トンのオリーブの実が収穫されています。

2. 気候

年間平均気温は約16.3℃、年間降水量は約1,300mm、日照時間1,760時間 冬は温暖でオリーブ栽培に適した気候となっています。

3. 淡路島オリーブの特徴

温暖な気候を反映した淡路島では、イタリア原産種を中心にした数種類の比較的マイルドなエクストラヴァージンオリーブオイルを産出できるオリーブを栽培しています。これは御食国淡路島の豊富な食材にマッチしたオリーブオイルを生み出すための取組です。

4. 淡路島オリーブを活かした観光事業

淡路島オリーブを観光に生かそうとの取組から、南あわじ地域では淡路島オリーブを活用した取組を行っております。

○収穫体験事業

淡路島オリーブの収穫期（9月中旬から11月末まで）には、京阪神を中心に全国からオリーブ収穫体験希望者を募り、気候温暖な時期の農園での収穫を楽しんで頂いています。（無料）



淡路島オリーブについて教えます！

1. オリーブの栽培

南あわじ市の遊休地を利用して、イタリア産の高品質なオリーブを輸入し、『フ란トイオ』をメインに『レッチーノ』『ペンドリーノ』『マウリーノ』『コラティーナ』といった品種を栽培しています。

南あわじ市のみならず、洲本市・淡路市にもオリーブ栽培は広がりを見せており、淡路島内に2万本を目指しています。

2. オリーブの収穫

毎年、10月～11月にかけてすべて丁寧に手摘みによりオリーブを収穫し、炭疽病や虫食いなどの実の選別を行い、取り除き、出荷を行うことで、高品質なオリーブオイルを目指しています。

なお、生理落果した実や収穫時に地面に落としてしまった実は廃棄しています。

3. オリーブの加工

収穫してすぐに搾油できるよう、淡路島内に最新の搾油機を設置した加工所を数か所設けています。

南あわじ市では「淡路じゃのひれアウトドアリゾート」において搾油機を設置しています。

一切の熱処理を行わず、ノンフィルター加工で純粋でマイルドなエクストラヴァージンオ

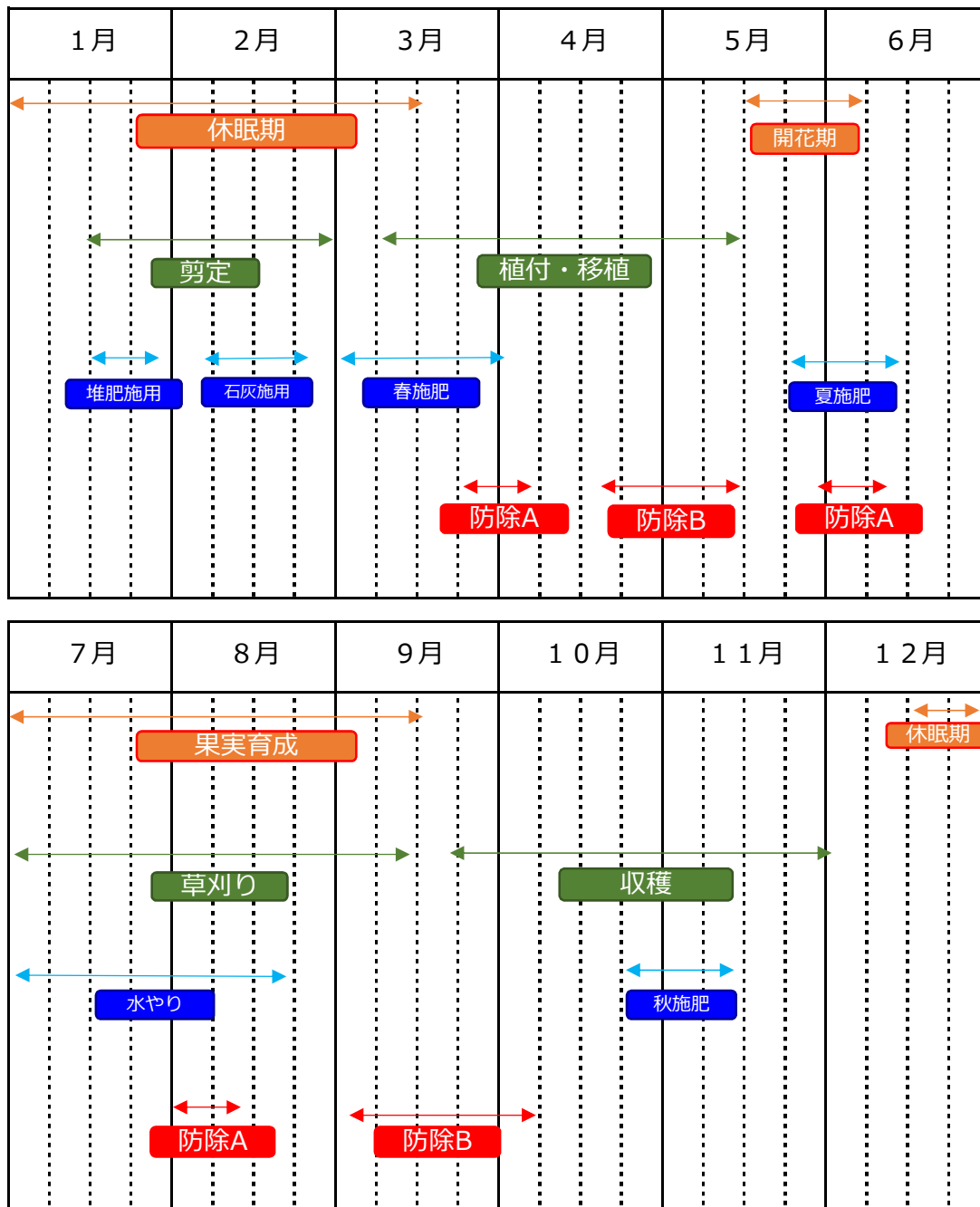
4. オリーブオイルの名称は地域団体商標を取得しています。

「淡路島エクストラヴァージンオリーブオイル」という名称は地域団体商標を取得しています。

NPO法人淡路島オリーブ協議会が商標権者となっていますが、同ブランドから独立すれば、ブランド名称を使用してオリーブオイルを加工販売することができます。



オリーブ栽培の年間営農スケジュール



※ 防除A オリーブアナアキゾウムシ防除 (スミチオン乳剤50倍)

※ 防除B ハマキムシ防除 (デルフィン2000倍)



雇用先の法人を紹介

淡路じゃのひれアウトドアリゾート (南あわじ市阿万)



連携

南あわじオリーブ園 (南あわじ市賀集)



淡路じゃのひれアウトドアリゾートの紹介

50本のオリーブを栽培しており、南あわじ地域のオリーブを搾油できる施設を有しています。

オリーブ栽培のみならず、宿泊体験、釣り体験、食の体験、農業体験など様々な体験ができる施設で働くこともできます。

淡路じゃのひれアウトドアリゾートで働きながらオリーブ栽培の勉強ができます。

南あわじオリーブ園の紹介

南あわじ市を中心に園地を6箇所、管理し、500本のオリーブを栽培しています。商品については販路などの相談も可能です。

代表者はNPO法人淡路島オリーブ協議会・一般社団法人淡路島オリーブ協会の理事長も兼務しています。

・ 求める就農希望者

**勤めながらオリーブ栽培を始めて少しずつ南あわじ市内で
拡大しようとする兼業志向の方**

※ 果樹は収穫できるまで数年かかり、すぐに結果が出ることはありません！
それでもやりたいと思う熱意とオリーブが好きな方を求めています。

・ 雇用期間中に学べること、またはメリット

オリーブに限らず、果樹は植付から安定した収穫までに3年以上の月日を要することがほとんどですが、雇用される事で1年目から植付から収穫まで一連の作業を経験でき、栽培技術、加工技術、商品開発及びマーケティング、流通販売に関する技術の習得ができます。

・ 独立自営就農に向けた協議会のバックアップ

一定期間の研修を経て、独立の準備のために南あわじオリーブ園の経営する一部の栽培農園での栽培を受託して頂き、独立して農園経営ができるノウハウを取得して頂きます。

・ 住居

独立して農園経営ができるまでの期間、南あわじオリーブ園所有の建物（南あわじ市賀集）内に住居（8畳洋室、クローゼット、エアコン、ベッド、バルコニー完備）を無償提供します。



独立へのお手伝い

独立自営就農へ向けた支援計画（案）です。

○ 雇用前 （農のインターンシップ）

春先から初秋までは体験と言っても草刈り作業がほとんどです。

雇用前の体験は8月下旬頃にご連絡をいただき、収穫作業から入ることをお勧めします。

※ インターンシップについては南淡路農業改良普及センターを通じて依頼をして頂けるとスムーズです。

また、市役所が開催している月1就農相談会には必ず参加してください。

○ 雇用期間 1年目

1年間、オリーブに関わる作業全般について、作業をしていただきます。

冬場は剪定作業、夏場は大半が草刈り作業となり、忍耐力が必要です。

オリーブオイルの販売にも同行していただくことがあります。

※ 連携先の南あわじオリーブ園での作業の手伝いも実施していただくことがあります。

○ 雇用期間 2年目

基本的には1年目と同様の作業を行っていただきますが、搾油に係る作業についても理解を深めていただくことになります。

※ 連携先の南あわじオリーブ園での作業の手伝いも実施していただくことになります。

○ 雇用期間 3年目

知識と技術を更に深めるため、南あわじオリーブ園が管理している園地の一部を丸ごと管理していただきます。

この3年目で安定した収量でより良いオリーブが生産でき、独立を希望する場合には次年度から3年目で管理いただいた南あわじ市オリーブ園の園地についてはお任せします。

また、新たな園地については共に探し、規模拡大のお手伝いを行います。

※ 雇用期間満了後、新規就農1年目から収穫する園地を管理することができます。

※ 独立せずにそのまま淡路じゃのひれアウトドアリゾートの社員としてオリーブ栽培に携わることもできます。

○ 独立後の収入目安

雇用期間満了後、新規就農1年目から収穫する園地を管理し、経営面積60a、農業所得200万円を目標としています。（目標所得：約33.3万円/10a）



役割分担

NPO法人 淡路島オリーブ協議会	・ 雇用就農情報の提供 ・ 収穫体験事業による収穫サポート
Nogozio DOMA	・ オリーブ搾油サポート ・ NPO法人淡路島オリーブ協議会窓口
一般社団法人 淡路島オリーブ協会	・ オリーブオイル講座の開催 ・ オリーブアドバイザー制度の推進
南あわじオリーブ園	・ オリーブ栽培技術支援
淡路じゃのひれアウトドアリゾート	・ オリーブ栽培技術支援、搾油サポート
木戸オリーブ園	・ オリーブ栽培技術支援
池ノ谷オリーブ園	・ オリーブ栽培について情報提供
自治会	・ 地域への溶け込み支援（行事への参加案内等）
農会	・ 地域への溶け込み支援（行事への参加案内等）
南あわじ市	・ 農業支援制度、移住定住制度の情報提供、調整 ・ 応援チームのフォローアップ
南淡路農業改良普及センター	・ 就農相談（インターンシップ、雇用、独立前） ・ 土づくり等栽培技術助言 ・ 農業支援制度（県）の情報提供、調整

【お問合せ】

南あわじ市役所 農林振興課 ☎ 0799-43-5223
 NPO法人淡路島オリーブ協議会 ☎ 0799-38-6161